

# で き ご と

yoshinogawacity



## 吉野川市優良工事表彰

7月19日、令和3年度に竣工検査した対象工事66件のうち、優秀な成績で完成した工事5件（4社）を表彰しました。

本市では、工事施工の適正化および施工技術の向上を図るため、市が発注した請負工事のうち優秀な成績で完了した工事を毎年表彰しています。

表彰された業者は次のとおりです。

●土木部門 …（株）三木組、新興建設（株）、阿波舗道（株）

●建築部門 …（有）エレテック



△優良工事業者の皆さんと



## 全日本U-12フットサル選手権大会に出場する YSC オーレ徳島の皆さんが市役所を訪れました

7月29日、「JFA バーモンドカップ第32回 全日本U-12フットサル選手権大会 徳島県大会」で優勝したYSCオーレ徳島の皆さんが、全国大会出場を報告するため市役所を訪れました。

報告を受け原井市長は、自身もゴールキーパーとしてサッカーチームに所属していた経験にも触れつつ「チームスポーツなので、皆で声掛け合い励まし合ってプレーしてほしい」と激励しました。



△吉野川市のジュニアサッカーチーム「YSC オーレ徳島」の皆さんと



△賞状を手に笑顔の渕上さんと原井市長

## 100歳の誕生日おめでとうございます

7月1日、酒伊ツネコさん（鴨島町鴨島）が100歳の誕生日を迎られました。酒伊さんは阿波市土成町で6女として生まれました。23歳で結婚し、3男1女を育てながら農業や仕出し屋などの飲食店で70歳まで働いていました。現在は、吉野川市内の施設で生活しています。鼻歌を歌ったり、部屋でテレビを見たりしながら過ごされています。酒伊さんは、書道が得意で現在も自分の名前を書いています。長生きの秘訣は、おしゃべりすることや周りへ気配りすることだそうです。

誕生日当日は施設職員に見守られながら笑顔で祝い状を受け取られました。



酒伊ツネコさん  
(鴨島町鴨島)  
大正11年7月1日生まれ



山口よ志みさん  
(鴨島町上浦)  
大正11年7月18日生まれ

7月18日、山口よ志みさん（鴨島町上浦）が100歳の誕生日を迎えられました。山口さんは石井町に生まれ、大阪で就職するも戦争で空襲に遭い、徳島に疎開してきました。27歳で結婚し、2人の子供を育てながら農協職員として定年まで勤められました。現在は、長男夫婦と3人暮らしをされています。山口さんは、プロ野球や演歌のテレビ番組を観ることを楽しみにされています。また、日頃の日課として、新聞を読み、脳トレプリントを行っているそうです。孫や孫が遊びに来てくれること、デイケアで友達や職員の方とお話しすることが長生きの秘訣だそうです。誕生日当日はご家族に見守られながら笑顔で祝い状を受け取られました。

吉野川市内の100歳以上の長寿者は46人（女性42人 男性4人）になりました。

## 地震の心得10力条 第8条 山崩れ、かけ崩れ、津波に注意

## 徳島ヴォルティスホームタウンデー「吉野川市民デー」開催!!

7月23日、鳴門・大塚スポーツパーク ポカリスエットスタジアムにて、徳島ヴォルティスホームタウンデー「吉野川市民デー」が開催されました。

当日は、スタジアム前のヴォルティス広場で、観光パンフレットの配布や特産品の販売が行われ、本市の魅力をPRしました。試合開始前のセレモニーでは、原井市長のメッセージで選手・サポーターを鼓舞し、ハーフタイムショーでは「鴨島鳳翔太鼓振興会」の迫力満点の演奏が響き渡りました。結果は0-0の引き分けとなりましたが、今年の吉野川市民デーは、吉野川市民を含め多くのサッカーファンで盛り上がりました。



市長挨拶



ハーフタイムショー  
(鴨島鳳翔太鼓振興会)



△「コール・エ・コールかもじま」の皆さん

## 「コール・エ・コールかもじま」 おかあさんコーラス 全国へ

8月2日、鴨島町の合唱団「コール・エ・コールかもじま」の皆さんが全国大会出場を報告するため市役所を訪れました。

『第45回全日本おかあさんコーラス四国支部徳島大会』において、「松本てまり」などを歌った「コール・エ・コールかもじま」は、東京で開催される全国大会への出場を決め、通算で9回目の全国大会出場となりました。



△大勢の来場者がありました

## 吉野川市芸術祭「第18回総合美術展」開催

7月9日、10日の2日間、市文化協会主催による「総合美術展」が文化研修センターで開催されました。

吉野川市内に在住している方や、吉野川市内の職場・文化サークルに所属している方の書道、写真、絵画、工芸など計145点の作品が展示され、354名の来場者がありました。

来場者は、多くの力作を鑑賞し感嘆の声を漏らしていました。また、気軽に美術作品とふれあうことができ、喜びの声が聞こえました。

## ローマ語ペリーナ・コンテスト2022



## 日本語スピーチ・コンテスト2022

吉野川市国際交流協会の日本語教室受講生による日本語スピーチ・コンテストが7月17日に山川公民館で開催されました。7人の受講生が、日本での仕事や母国の文化、将来の夢などについて日本語でスピーチを行いました。スピーチの後には、インドネシアの踊りも披露され会場を和ませていました。

△日本語スピーチ・コンテスト表彰式

## 地震の心得10力条 第7条 協力し合って応急救護